

がんばれ！フレッシュ先生！

赤穂小学校 4年2組担任

金野 晃大 先生



先生になっての感想は？

毎日が新たな気付きの連続です。日々子どもたちとの関わりを通して、忙しさのなかにもやりがいや喜びを感じています。

赤穂小学校 2年1組担任

小村 千恵 先生



やりがいを感じる時は？

子どもたちが、勉強が分かったときに嬉しそうにしている顔や、友達と楽しく過ごしている姿を見せてくれたときです。

城西小学校 2年1組担任

岡田 依子 先生



どんな先生になりたいですか？

学習や様々な活動を通して、子どもたちがもっと知りたい、やってみたいと思えるように学ぶことの楽しさや面白さを伝えることができる先生を目指しています。

塩屋小学校 2年1組担任

宮地 一斗 先生



先生になっての感想は？

一緒に感動や喜びを共有できる機会が多くあるのでやりがいを感じています。フレッシュな気持ちで子ども達と関わっていきます！

塩屋小学校 養護教諭

杉浦 琴音 先生



どんなことをがんばりたいですか？

子どもたちが心身共に安心できるような保健室にするために、一人一人を大切に思いながら関わっていききたいです。

尾崎小学校 4年1組担任

土田 武海 先生



先生になりたいと思った理由は？

小学校6年の時の担任の先生との出会いがきっかけです。その先生は、いつも明るくて、クラスみんなの気持ちに寄り添ってくれる温かい人でした。そんな先生の姿を見て、「自分もこんなふうな、子どもたちを支えられる先生になりたい」と思うようになりました。

坂越小学校 1年2組担任

坂之上 優衣 先生



どんな先生になりたいですか？

子どもたちの笑顔が輝けるよう、一人一人に寄り添い、ともに成長していける先生になりたいです。

有年小学校 養護教諭

里野 彩夏 先生



先生になっての感想は？

子どもたちの笑顔に元気をもらいながら、忙しくも充実した毎日を過ごしています。

有年中学校 養護教諭

大谷 ひかり 先生



先生になりたいと思った理由は？

睡眠不足でイライラしたり、怪我で走れなかったりして、自分で健康を守る力の大切さを実感したことがきっかけです。

有年中学校 3年1組担任、音楽科

柏原 健汰 先生



どんな先生になりたいですか？

ユーモアがあって優しい先生になりたいです。子どもたちに寄り添いながら、一緒に笑って、一緒に成長していけるような存在を目指しています。

教育委員会だより

すくすく のびのび いきいき

令和8年2月 第48号 発行：赤穂市教育委員会 ☎0791-43-6857 FAX 0791-43-6895



2025年(令和7年)10月9日(木)、赤穂市文化会館(赤穂化成ハーモニーホール)大ホールにおいて、第73回赤穂市小中学校連合音楽会が開催されました。市内全小中学校15校から約500人の児童生徒が参加し、合唱、合奏、吹奏楽、和太鼓演奏など、日頃の練習の成果を広いステージで披露し、会場いっぱいに美しいハーモニーを響かせました。

市内の小中学校が一堂に会し、演奏を通して交流する機会是他市にはあまり例がなく、本音楽会は「音楽(合唱)の街~赤穂~」を象徴する行事となっています。また、この連合音楽会は今年で73回を数える歴史ある音楽会です。「赤穂市学校音楽活動記録(明治7年~平成4年)」(西原賢編集)によると、第1回は1950年(昭和25年)に「赤穂郡南部地区連合音楽会」としてスタートしました。(会場は蓼州(りょうしゅう)中学校講堂(旧赤穂高等女学校))1992年(平成4年)の赤穂市文化会館オープン以前は、各学校の講堂や体育館を会場にして開催されていたことが記録されています。

新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされた年もありましたが、お互いの学校の演奏を聴いて刺激を受け、憧れをもち、これからの音楽活動に生かすという目的のもと、音楽会は継続されてきました。こうした積み重ねにより、赤穂市全体の音楽活動の充実とレベル向上が図られ、他市からも高い評価をいただいています。

今後は、部活動の地域展開に伴い、出演団体や演奏内容等について検討が必要となりますが、引き続き、子どもたちが音楽に親しみ、豊かな感性を育む活動を大切にしていきたいと考えています。



ル・ポン国際音楽祭2025

ル・ポン国際音楽祭2025が9月27日から10月4日までの8日間、開催されました。赤穂市では、9月27日～10月1日の間、赤穂城跡特設会場及び赤穂化成ハーモニーホールを会場として4公演を行いました。

ル・ポン国際音楽祭は、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団第1コンサートマスター榎本大進氏を音楽監督とし、同氏と親交のある世界的な演奏家による室内楽のコンサートで、2012年から姫路市と共同で開催しています。

音楽祭の運営にあたっては、多くのボランティアの方にご協力いただき、ありがとうございました。

隔年で開催している赤穂城跡特設会場での公演は、雨天のため1日だけの開催でしたが、会場は満席となる盛況ぶり、ライトアップされた本丸櫓門と城壁をバックに演奏が披露されました。普段とは全く異なる赤穂城跡の幻想的な雰囲気なか、観客のみなさんは美しい演奏に聴き入っていました。



本丸櫓門をバックにした赤穂城跡特設会場



赤穂城跡特設会場での演奏

また、関連イベントとして、9月27日・28日に「ほのぼのコンサート」を赤穂中央病院と赤穂市民病院で開催しました。

赤穂中央病院では、日本国内だけではなく、ドイツ、ポーランド、オーストリア、チェコ、イタリアで演奏会を開催されるなど活躍されている山本真希さんによるパイプオルガンの演奏が行われ、重厚な音色に訪れた観客は魅了されていました。

赤穂市民病院では、兵庫県立芸術文化センターの事業として、全国の小学生から高校生までの子どもたちをオーディションにより選抜し、佐渡裕氏の指揮・指導により様々な活動を展開されているスーパーキッズ・オーケストラによる演奏が行われました。11名のメンバーの息の合った演奏に、会場は和やかな雰囲気に包まれました。



赤穂中央病院でのコンサート



赤穂市民病院でのコンサート

リズムにのせて♪



御崎幼稚園 みず組（5歳児）

幼稚園では、歌や簡単なリズム楽器に触れながら、音やリズムに親しみ、音楽の楽しさを感じられるように活動しています。

この写真は、子ども達がいろいろな楽器を使って、ピアノの曲に合わせて自分達で考えたリズムで演奏を楽しんでいる様子です。

タンバリンや鈴などを自分から進んで鳴らし、思い思いに音を出すことで、表現する喜びを味わっています。また、5歳児になると木琴や音感ベルなどメロディー楽器にも触れ、友達の音に耳を傾けながら工夫して音を合わせる姿も見られます。

うまく演奏することだけが目的ではなく、音楽に親しみながら、友達と一緒に表現する楽しさや気持ちよさを育てていきたいと考えています。



塩屋保育所 ひよこぐみ（0歳児）

歌やリズムに合わせて、体を揺らしたり仕草をしたりする姿がとてもかわいい0歳児クラスのひよこぐみ。

12月の音楽会では、「ミックスジュース」の手あそびや手作り楽器で「おもちゃのチャチャチャ」を楽しみました。曲に合わせて体を動かしたり、ミルク缶で作った太鼓をたたいたり、鈴入りのバチをふって鳴らしたりと、さまざまな表現の仕方に子どもも大人も心温まる時間でした。

これからも音楽やリズムを通し、一人一人が自分の表現を心から楽しむ経験を積み重ねていきたいと考えています。